

## 第4節

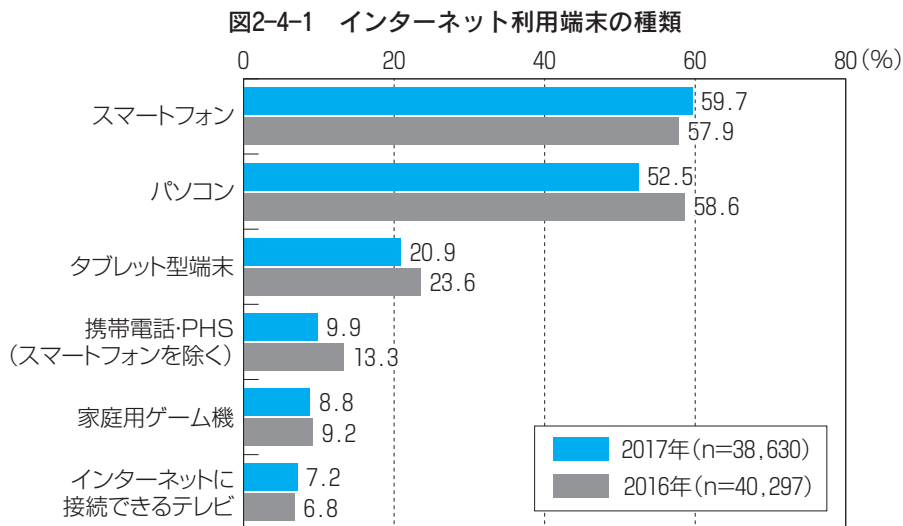
# インターネット社会と小売業

### 4-1 インターネットの普及

現代は高度情報社会といわれており、コンピュータによる情報処理とICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）が飛躍的に発展し、日常生活のなかで「情報」が大きな意味を持つようになっている。

これまで、世の中の出来事を知るための情報源としては、テレビやラジオ、新聞や雑誌などのマスメディアに限られていた。だが、今やインターネットは代表的な情報源の一つとなっている。

総務省「平成30年版 情報通信白書」によれば、2017年のインターネット利用率（個人）は80%を超えている。また、端末別にみると、「スマートフォン」での利用率が最も高く（59.7%）、「パソコン」の利用率（52.5%）を上回っている（図2-4-1）。



※当該端末を用いて過去1年間にインターネットを利用したことがある人の比率

出所：総務省「平成30年版 情報通信白書」

#### (1) ネットショッピングの普及

インターネットの普及に伴い、それを通じた商品やサービスの購入が広がっている。総務省「家計消費状況調査結果」によると、ネットショッピン